

国際政治

106

システム変動期の国際協調

日本国際政治学会編

システム変動期における国際協調	佐藤英夫
国際経済における対立と協調——理論と政治過程	山本吉宣
アナーキーの下での協力と「適度のあいまい性」	神谷万丈
ポスト冷戦時代の到来とマクロ国際政治理論の体系化	石井貫太郎
K・N・ウォルツの国際構造論に関する一考察	角南治彦
セキュリティ・ディレンマの国際政治理論	土山實男
国際制度と国内制度	伊藤剛
ウルグアイ・ラウンド農業交渉とE C	長尾悟
冷戦後の国際開発理論と日本のODA	毛利勝彦
冷戦後の国際関係と民主主義	大芝亮
<hr/>	
中国人民志願軍の撤退と金日成の権力基盤確立	伊豆見元 平岩俊司
占領下日独に対する最恵国待遇供与問題	赤根谷達雄
新国際電気通信体制の起源	山田高敬
<hr/>	
<書評>	
伊能武次著 『エジプトの現代政治』	鹿島正裕
広瀬佳一著 『ポーランドをめぐる政治力学 ——冷戦への序章 1939-1945』	百瀬宏
赤根谷達雄著 『日本のガット加入問題』	大矢根聡

1994年5月刊